



会報 29号

平成8年(1996) 4月例会時発行

〒271 松戸市松戸新田 24-9-504

北総歩こう会事務局

☎ 0473(65)2369

CWA ニュース

4月6日、第二回理事・運営幹事会が千葉市花園公民館で開催されました。当日の報告&討議内容から、次のとおり報告させていただきます。

1. 歩こう会の発足

- 千葉県歩け歩け協会に所属する、第八番目の地域団体として、富山町に歩け歩け協会が発足しました。県内では、地域団体の名称に「協会」を使用しない事で合意をされておりますが富山町の場合、行政主体の組織でもあります近隣に幾つかの歩こう会が活動している事等もあって、名称変更のむずかしさを感じさせております。
- 御宿に歩こう会発足の動きあり、詳細はまだ不明です。

2. 通常総会の開催日について

各歩会の通常総会日は同一日時にするとの案もあり、千歩協通常総会への会員参加方法と併せ、今後の理事会等で検討を進めていく事となりました。

3. 九十九里ツーデーマーチ

本年第一回目として、成東町本須賀海岸海の家を利用して6月に開催致します。名目上、役員研修を兼ねるとなつておりますので、本会からは一般会員の参加は御遠慮願いたいと思います。

4. 平成8年度 千歩協役員(北総歩会)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| ・副会長 | 黒河内 尚 | 古宮 誠 |
| ・常任理事 | 金子 富光 | 友野 孫治 |
| ・理事 | 和田 武年 | 吉井 孝 |
| ・運営幹事 | 横山 永喜 | 木津 隆典 |
| | 閔 清吉 | 宮崎 篤司 |
| | 菱 和吉郎 | |

平成8年度事業計画
四大重点目標

1. ウオーカーマナー元年!
みんなに迷惑をかけない楽しいウォーカーを。
2. 80の春をたたえよう!
高齢化社会を明るく楽しく迎えるには元気なウォーカーを。
3. 青年部を発足させよう!
青少年、壮年層に若いうちから歩くことの楽しさを。
4. 一キロまではいつも歩こう!
安全快適なまちづくりをみんなの手で。

社団法人日本歩け歩け協会

今月号の、あるけ新聞に掲載された記事の中から抜粋したものです。

・ウォーカーマナーについては、本会でも昨年より呼び掛けまいりました。安全で楽しい一日を過ごすためにも、行事に参加された方々、一人々の御協力をお願いしたいと思います。

・行事に参加される方々は、皆「青年」と思っております。しかし、この活動を将来につなげる為には、若い世代の参加を呼び掛け、一緒に歩けるような環境づくりが必要であると考えております。

(事務局)

事務局より

- 約一ヶ月程、お休みをいただきましたが先日より事務局活動を再開致しました。なにか不都合な事がありました時は、遠慮なく連絡して下さい。
- 新たに入会された方々の名札は、名入れの発注済みです。届き次第お手元に送らせていただきますので、今暫くお待ち下さい。新聞は5月号より直接届く様、手配済みです。

(携電、☎ 030-34-58750)

入会案内

常磐線沿線の自然と歴史、文化等を求めて、毎月一回楽しく歩いています。入会金、年会費等初年度は6800円。会員は(社)日本歩け歩け協会会員としても登録されます。

御連絡を戴ければ、入会案内書等を送ります。お友達をお誘いの上、皆様の御入会をお待ちしております。

— 事務局 —

独り言

陽春の光を浴びて、田んぼにゲンゲが一面に咲きあふれ、紅紫色の柔らかい絨毯が人を誘いこむ。「げんげ田の敷く紅のうち続生き重なりて雪の山に迫る」(窪田空穂)こうした情景は、かつて日本の農村にはどこにでも見られた。ゲンゲはマメ科の二年草で、中国が原産地レンゲ・レンゲソウ・ゲゲバナ・ゲンゲン等と別名が多い。茎は地を伏して長く這い先が立ち上がって高さ10~30cmに伸び、奇数複葉で3~5対の卵形の小葉をつける。四、五月頃葉腋から長い花柄を出し蝶形の小さな花を輪状に咲かせるゲンゲ田が麦畠や菜の花畠と紅青黄の色模様を織りなす景観は少なくなったが、スミレ・タンポポとともに春の小川の囁きにこたえて咲き、子供たちに親しまれる可憐な草花である。

紫雲英
(ゲンゲ)



とぶ鉛を紫雲英の中に押へけり

5月例会案内

11(土) 川村美術館を訪ねる (ちば歩こう会)

12(日) 歴史の道・佐倉史跡巡り (船橋歩こう会)

19(日) 柴又帝釈天めぐり (いちかわ歩こう会)

多くの皆様方の御参加を、お待ちしております。

— 詳細は、あるけ新聞又は各歩会の事務局で！ —

<編集の窓>

満開の桜が昨夜の強い風にあおられ、路面に花の絨毯をひろげておりましたが、皆様の所はいかがでしたか？桜の名所は各所に沢山あると思いますが、私のお薦め所は「八柱靈園裏の桜並木」。武蔵野線高架下より約2kmの区間、道の両側につづく桜並木は大変見事です。いつも車を走らせながらの鑑賞ですが、一度ゆっくりと歩いて見たいと思っている所もあります。

(M)